

O-016

**安寧空間創製システム概念による介護-看護の自動化研究**

Study on automation of nursing care and nursing by Well-Being Space creation system concept

**天下安寧空間創製システム化構想**

A strategy to create a safe space for the world

沢 恒雄\*<sup>1</sup> Sawa Tsuneo**1. 人類が置かれている現状**

人類・人がどうあるべきかという哲学は、雲散霧消し、科学技術に置き換わった。制御不可能な核や遺伝子の領域が最たるものであろう。現在、環境-社会-経済のトリレンマ状態を修復する手立てもなく、100億人の人類は生存が不可能であるという議論もない。

糸川英夫博士は、星になって我々を眺めている。哲学が科学技術遷移と依存症的欲望の肥大による人類統治の爛熟的腐敗-崩壊がトリレンマ現象に陥ったのである。[1]

超老人大国の日本は、今後、高齢者の消費する資源は甚大になると予測されている。要介護や認知症の患者に対する介護や看護は、患者の急増で財政的や労働力枯渇などの面に対応しきれなくなるだろう。財政破綻という課題も現実問題である。

人類存続の危機に対応すべく安寧空間創製システムの概念を提唱してきた。結論的には、世界的な人類存続の課題を緩解-艦戒する方略として日本の先人が残してくれた文化的-文明的な遺産をベースにしたシステムを提唱してきた。

XX主義やXX思想だけでは対応が取れないまでに人類の欲望と依存症の傾向が癌細胞のように肥大していることに統治者や大衆は知りつつも無視している。哲学が科学技術にすり替わっていることが大きな原因である。

**2. 先行研究**

人類存続の危機に対応すべくトリレンマ緩解-艦戒を可能とする安寧空間創製システムの概念をFIT2015~FIT2017で提唱してきた。

人口増加率と工業化率の低減を達成しうる概念として、世界日本学、生物人類温存と言語文化温存の2大戦略を擁しての概念で、包括的幸福評価法の結果で組織が経営・統治する安寧異空間創製概念である。基盤となるモデルベースシステムは、1989年にソフトウェア商品として開発した。モデルベースの構築法は確立されていない時期であり、眉唾の評価であったが、実社会での応用として棚割りシステムの業務が開発・運用されて、全国的に稼働中である。

これらの概念と構想を啓蒙し、浸透させるために第1表に示したE-メールの署名を使用している。

\*1 遊工学研究所 YUUKOUGAKU Institute

### 3. 天下安寧空間創製システム構想:第1図,第2表

環境-社会-経済のトリレンマ緩解-艦戒のために、日本の文明文化力を世界に浸透させて「幸福」という指標を包括的に確定し、その指標を基準にした世界の経営-統治を实践するという思想だ。

人類は、未だに核融合と核分裂を制御する方法を人類は持つに至っていない。野蛮な科学技術が個と集団の依存症-価値観を肥大させすぎた。成長率を統治の核に据える方法は麻薬効果である。

天下安寧空間創製システムは、「寝たきり人」と自立-自律な健常人を対象に、自立-自律を維持するための保全の仕組みである。

平成29年5月30日に「世界最先端 IT 国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」が閣議決定された。今年もスケジュールや内容の修正がなされている。これらから、社会保険料の著しい増加を抑制したり、PPK(ピンピンコロリ)と NNK(ネンネンコロリ)の数年間のギャップを解消するような内容には至っていない。さらに予防保全とリハビリによる病気の症状の早期発見で病気になる確率を減少させ、NNK から PPK に改良させる。

政策実践の内閣-都道府県市や総務省-厚労省-国交省にも、単なる時代の悪化傾向だけを予測するのではなく、自らの組織に組み込んで行くべきだ。

**\* 1. 「自立-自律人」**の自立-自律の保全の方法は、ウェアブルセンサーを使用して個人単位で病歴や活動状態から個人の特性を抽出して恒常性の管理を实践する。[5]

**\* 2. 「寝たきり人」**の介護は、完全自動化を目指して IOT-AI-ROBOT-MBS などの要素を組み合わせ包括的な情報バンクを構築して運用時に利活用させるシステム化を目指す。モデルベースのモデル精緻化, AI だけに頼らず専門家の省察的実践と量的質的な手法を統合化して, システム化する。包括的な高齢者の看護-介護は, 廉価なシステム化で社会保険の経費を大幅に削減することを目的とする。

**\* 1 と \* 2 の両者の差は極小化される。**

高齢者社会のモデルベースは, 今後高齢者の急増が予測される諸国の転用が可能である。個々人の特性を精緻に改善していくことや, システム運用の PDCA サイクルの過程での実践から経験則として省察を獲得できる。それらをモデルに反映させてモデル精緻化を図っていくことが可能となる。結果として看護費用-介護費用の軽減化と患者の心身の苦痛を除去-軽減することができる。

人類の存続のための本命として日本モデルが, 人類滅亡のキーとなる。日本モデルの良質な特質として「足るを知る」と「自他共生-共存」等の特質がトリレンマ緩解-艦戒の鍵である。

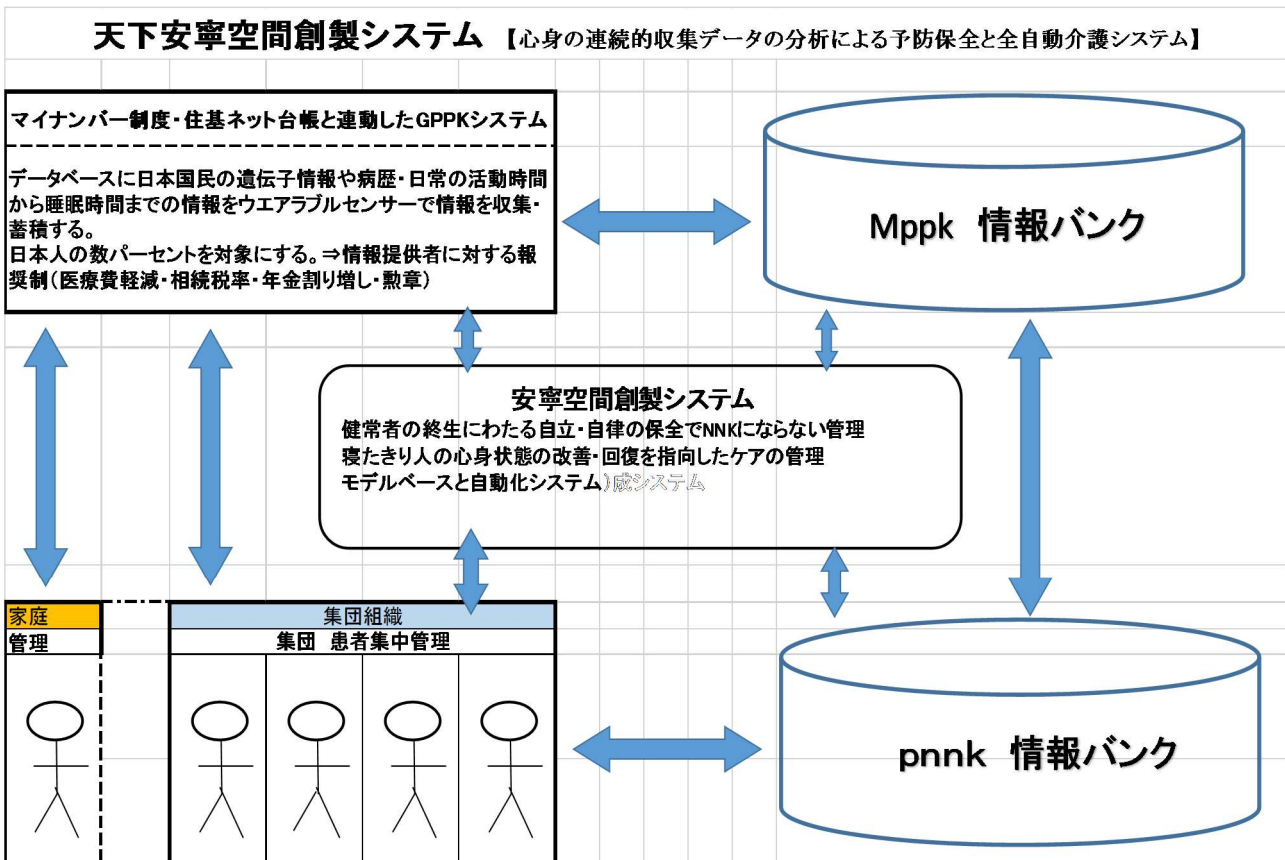
安全-安心の安寧空間創成システムのシステム的评价尺度 (RASISUEEH) が重要となる。

ここで重要なのは「H: 幸福度」で統治の核となる概念である。発表時に概要説明をする。

参考文献に挙げた情報は, 研究者と自称するなら一度は熟読してほしいと願う。

遊工学研究所(技術士)世界-天下安寧空間創製のため知識-知恵-智謀の探索を主に知財 Bank の構築と天下への浸透; 研究-計画-設計-構築-保守-廃棄-管理-発信-編集等統合化
日本の主権-国體-魂を回復のため修正ではなく、近現代の事実に基づく日本史-世界史の而二不二(ににふじ)化が最重要; 核兵器-殺傷兵器-人格崩壊薬物-餓死者の絶滅のため日本モデルを浸透させる Digital Diplomacy 活動
1. 環境(22世紀人類生存は不可能)-社会(絶望的価値配分の現状)-経済(博徒的経済)のト艦戒-緩解の研究と啓蒙
2. 生物人類温存と言語文化温存の2大戦略の思想で概念構築を精緻化し System 実現。
3. 仮説:工業化率と人口増加率の逡減によるトリレンマ艦戒-緩解の研究
4. 日本文化(武士道-匠-勅語)真髓を2大戦略を GMAIS 概念 System で CEO 世界発信
5. 世界日本学の提唱; 文明-文化-倫理大国とし良好な倫理観の遺産蓄積「足るを知る-嘘をつかない-盗まない-人を傷つけない」を世界に定着
6. 安寧空間創製システム の概念提唱と実現; GMAIS 概念の情報バンク(総合的知財:知識/知恵/智謀),実現法は、「AI+IOT+ROBOT+GMPIA+応用哲学」
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1丁目17番6-502
電話-FAX 電話;044-577-5939 携帯電話;090-3457-2687,メール;gmaisbasara@nifty.comH30年6月28日更新

第1表 遊工学研究所の E-メールの署名; 啓蒙と浸透への道程



第1図 包括的安寧空間創製システムの構想; 自立・自律の存続祈念

課題番号	具体的課題	現状	解決案	具体的方法；システム化＝モデルベース, AI, IOT, ROBOT	記事
課題1.	個人番号制の普及率が低調(約10%)	個人番号の利活用が低調である。従来の投資対効果率が悪くやり手が少ない。	自立・自律可能な国民の予防保全と「寝たきり人」の介護-看護の自動化を IOT/AI/ROBOT 最大限に利活用したシステム化の推進	マイナンバー制度に個人に老後を含めた PPK (PinPin Korori) 対策として、予防保全的な情報を収集-蓄積-予測が可能なモデルベースの国家システムを構築する。	MPPK=Macro Pin Pin korori
課題2.	寝たきり人が200万人もいて、自殺者が300万人にもいる倫理感貧国	健康平均寿命(PPK)と平均寿命(NNK)の差が大きすぎる。	個人に予防保全の概念がなく、ある日突然死や手遅れ状態になる。寝たきり人200万人は、国の大罪である。働き方改革だけでは片手落ちで、個人の自覚を醸成する社会システムにすることが急務である。安楽死法案と「幸せ」を享受できる倫理観の浸透が重要である。	健康平均寿命と平均寿命を一致させる。 NNK()から PPK への変換可能な制度化が急務である。 個人-組織-国に安寧空間の基準たる情報システムの RASISUEE の概念を導入する。	PPK=NNK が理想
課題3.	社会保険経費が指数的に増大すると予測される。	爺婆大国の先進大国であるのに悲観的な将来予測ばかりで、今こそすべきであるにも関わらず自信喪失している。	先の失敗の予測をしながら、施策-政策での対応がいつも手遅れの状態が日本の現状である。非常事態宣言の時期	生きざま観を大和の社会倫理感を確定して概念を浸透させ、高額医療を激減させ、現在の医療制度を改良する。 安寧空間創成の施策を実施する。	ダメになる現象を解決する戦略と施策で解決
課題4.	統合化された戦略的な政策-施策がない。	モデルベースの概念による OT/AI/ROBOT のアプリ開発をできる人材が皆無に近い。俯瞰的な当時の在り方などは AI ができるわけがない。	大がかりなシステム化はリスクのあるプロジェクトとなる。リスクテークをしたがらない個人と組織が増えた。国の難局に対し向かい風環境から逃げる体質になっている社会の是正が必要である。階層的で多重性の構造をモデルベースでシステム化する。	PPK=NNK にする。広域 PPK (MPPK) と個人 (PPK) に、日本人の遺伝情報、個人特性、恒常性維持の情報)を蓄積し、モデルベースとして実現する。運用は PDCA サイクルを回し、AI+IOT+ROBOT 技術を多用しつつ、省察的实践でプロの知恵を内包した精緻なモデルとする。	シナリオ-ナレッジ-ルール-ケース-データを安心-安全に
課題5.	介護-看護の労働力が絶対的に不足の現実である	介護-看護の労働力が人的な労働力だけでは充た不可能なのが目に見えるが、無策のまま汚い仕事を外国の労働者で充たしようとしている。	健常者の予防保全と寝たきり人の介護(看護)の大半を、IOT-AI-ROBOT-モデルベースで構築する。マクロ的とミクロ的な PPK と NNK ですべて解決する。	介護の困難さは、排泄行為にあり、段階を追って完全自動化を志向する。日本なら作れる！ウオシュレットのように世界へ浸透させ暗影をうる。次の数十年後は、中国へ輸出すればよい。	PPPK=Personal Pin Pin korori

第2表 統合的安寧空間創成システムの構築戦略【日本の明るい将来に向けて】

## 引用-参考文献

- [1] 人類は21世紀に滅亡する、糸川英夫、1994/4、徳間書房
- [2] 世界最先端 IT 国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画。(H29.5.30 閣議決定)
- [3] FIT2015～FIT2017 沢恒雄 世界日本学による安寧空間創製の研究(安寧空間創製システム:WBSC

- の研究)、生物人類温存戦略、言語文化温存戦略、人口増加率と工業化率の低減、包括的評価基準統治等
- [4] 知識社会における経営情報システム論第5章、沢恒雄、和多田作一郎、白藤書房、1994; Mode Base
- [5] データの見えざる手、矢野和夫、草思社2015
- [6] 環境力、合田周平、PHP、2008 (環境に奉げた男)
- [7] 戦争論、西部邁、日本文芸社、1991、日本を救う主張